

天草市 天長フェリー株式会社経営健全化方針

この方針は、天長フェリー株式会社について、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクターとして、当該第三セクターの経営健全化のための市の方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 2019年5月21日
作成担当部署 天草市地域政策課

2 天長フェリー株式会社の概要

法人名 天長フェリー株式会社
代表者名 代表取締役社長 波戸 正和
所在地 鹿児島県出水郡長島町諸浦1188番地1
設立年月日 1980年2月28日
資本金 25,000千円【市出資額（出資割合）10,000千円（40%）】
業務内容 旅客及び自動車航送（熊本県天草市の「中田港」、鹿児島県長島町本土側の「諸浦港」と獅子島の「片側港」の3地点を結ぶ一般旅客航路）
その他(沿革) 「中田港」と「諸浦港」を結ぶ航路は、昭和54年に不採算を理由に廃止されたことから、地元からの強い要請もあって、昭和55年より天長フェリー株式会社がかつこれを引き継ぐかたちで航路運営を行っているものである。同社は、当時、「片側港」から「諸浦港」間の航路経営を行っていた波戸汽船と旧新和町（現天草市）及び旧東町（現長島町）の共同出資により、航路存続のために設立された第三セクター方式による運航会社である。

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの市の支援

(経営状況)

- ・ 財政指標については、過疎化等の進展に伴い輸送需要が低迷していることに加え、燃料費や船舶修繕費などの経費が増加傾向にあり、厳しい航路経営を余儀なくされている。

(財政的なリスク)

- ・ 平成26年10月から、国庫補助航路として国等からの支援を受けているが、当該補助金を含めても、恒常的に経費が収入を上回る財務状況となっている。

(これまでの市の支援)

- ・ 平成20年度に、本市が事務局となり当該法人の他フェリー事業者2社、観光協会及び旅館組合等で構成する天草地域フェリー航路利用促進協議会を設立。これまで、利用促進策として、航路PR事業や利用需要の開発推進事業を実施している。
- ・ 平成26年度には、本市と同額を出資する長島町と協調し、累積損益を解消するため、天長フェリー株式会社に対し、800万円の支援を行った。
- ・ 平成27年度から平成30年度には、就航するフェリー「ロザリオ」が寄港する市管理港湾である中田港の可動橋の改修工事を行った。

4 経営健全化の取組に係る検討

- ・就航船舶は、船齢30年を超え、老朽化により安全かつ安定運航に支障をきたす可能性や船舶修繕費等の維持費の増加が懸念されるため、本市が参画する天草～長島航路対策協議会（事務局：鹿児島県）において、代替船舶導入について検討している。
- ・市としては、天長フェリー株式会社に対し、独立した事業主体として、自らの判断と責任に基づき事業を遂行し、経営の効率化、合理化を常に検討することを求め、同社が行う経営健全化の取組みに対し、側面から支援を行っていく。

5 経営健全化のための具体的な対応

- (1) 離島航路3カ年計画（航路経営改善に関する基本方針、航路整備計画及び運航計画の改善に関する事項、収入の増加・確保に関する事項、経費の節減に関する事項、関係機関等との連携に関する事項、今後引き続き検討すべき事項）のPDCAサイクルによる業務改善の取組に対する点検・評価を実施する。
- (2) 天草地域フェリー航路利用促進協議会において、収益拡大を目指し、航路PR事業や利用需要の開発推進事業を実施する。

6 当該法人の財務状況（参考）

	項目	金額（千円）			
		第39期(H29)	第40期(H30)	第41期(R1)	第42期(R2)
貸借対照表から	総資産額	29,965	20,723	21,733	26,172
	（うち現預金）	20,087	12,318	8,945	13,910
	（うち売上債権）	2,983	3,161	7,598	8,719
	負債総額	51,288	48,943	47,312	45,158
	（うち市からの借入金）	0	0	0	0
	純資産額	△21,323	△28,220	△25,579	△18,986

	項目	金額（千円）			
		第39期(H29)	第40期(H30)	第41期(R1)	第42期(R2)
損益計算書から	経常収益	120,777	122,289	128,352	122,021
	経常費用	129,915	135,324	136,464	137,415
	経常損益	△9,138	△13,035	△8,112	△15,394
	経常外損益	6,603	6,138	10,752	21,987
	当期純損益	△2,535	△6,897	2,640	6,593